

かすかべ KASUKABE 議会だより

2021(令和3)年8月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第64号



市民の憩いの場 庄和総合公園
(季節の景色が楽しめ、木製遊具も更新されました)



令和3年7月1日現在
人口 233,168
男 115,715
女 117,453
世帯数 109,231

うちわと蚊取り線香

主な内容

主な議案の紹介	2 ページ
審議結果	3 ページ
議会人事	4～5 ページ
一般質問	6～15 ページ
閉会中の委員会活動	15 ページ
全国市議会議長会表彰	16 ページ

春日部市道路の構造の技術的基準等を定める 条例の一部改正を可決

令和3年度春日部市一般会計補正予算 (第2号・第3号)を可決

道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正を可決

一部改正を可決

春日部市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について、道路構造令の一部改正に伴い、車線等の規定等を改正するものです。

条例の主な改正内容は、改正後の第8条の2については、自転車等を安全かつ円滑に通行させるために設けられる帯状の車道部分として「自転車通行帯」に関する規定を追加するものです。

改正後の第42条については、賑わいある歩行者中心の道路空間構築を目的とした「歩行者利便増進道路」に関する規定を新たに追加するものです。その他、該当条文の字句の修正をするものです。

附則については、この条例の施行期日を公布の日からとするものです。

【全会一致で原案可決】

令和3年度 一般会計補正予算 (第2号)を可決

令和3年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出の総額にそれぞれ7億1562万6千円を追加し、歳入歳出とも774億6184万9千円とするものです。

歳出の主な補正内容について、新型コロナウイルスワクチン接種事業7億1562万6千円の増については、64歳以下の市民に対するワクチン接種を実施するものです。歳入の主な補正内容について、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金7億1

154万2千円の増、および新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金408万4千円の増については、新型コロナウイルスワクチン接種事業に対し、国から補助金が交付されるものです。

【全会一致で原案可決】

令和3年度 一般会計補正予算 (第3号)を可決

令和3年度一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出の総額にそれぞれ2億5244万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ777億1429万3千円とするものです。

歳出の主な補正内容について、ひとり親以外子育て世帯生活支援特別給付金給付事務職員手当141万6千円および、ひとり親以外子育て世帯

生活支援特別給付金給付事業2億5102万8千円については、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、低所得のひとり親世帯以外の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円の特別給付金を給付するため、必要な経費を計上するものです。

歳入の主な補正内容について、ひとり親以外子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金2億2730万円および、ひとり親以外子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費補助金2514万4千円については、低所得のひとり親世帯以外の子育て世帯への特別給付金の給付に対し、国から補助金が交付されるものです。

【全会一致で原案可決】

議員提出議案

議会会議規則の一部改正を可決

女性をはじめ、多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備が求められるほか、デジタル化政策の一環として各種手続きから押印を廃止する取り組みが全国的に広がっています。

このような社会情勢を背景として、議員が本会議や委員会に出席できない理由をより明確にするとともに、請願書に係る押印等の見直しを行うため、春日部市議会会議規則の一部を改正するものです。

規則の改正内容については、第2条第1項および第84条第1項「疾病、出産」を、「公務、疾病」に、「家族の看護」を「看護」に、「その他の事故」を、「その他のやむを得ない事由」に、それぞれ改めるものです。

第2条第2項および第84条第2項については、出産を予定している女性議員が出産のために欠席するときの欠席期間の上限を産前6週、産後8週とする規定を追加するものです。

第132条の請願書の記載事項等については、請願者に対し提出を求めている署名押印を署名または記名押印に改めるとともに、請願者が法人の場合の条文について、規定の整備を行うものです。附則については、この規則の施行期日を公布の日からとするものです。

【全会一致で原案可決】

6月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第 29 号	専決処分承認を求める (税条例等の一部改正) (総務)	承認	○	○	○	○	○
議案第 30 号	専決処分承認を求める (都市計画税条例の一部改正) (総務)	承認	○	○	○	○	○
議案第 31 号	専決処分承認を求める (固定資産評価員の選任) (総務)	承認	○	○	○	○	○
議案第 32 号	専決処分承認を求める (令和3年度一般会計補正予算(第1号)) (厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○
議案第 33 号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 34 号	行政手続における押印等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (総務・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 35 号	税条例等の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 36 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 37 号	道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 38 号	正善小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 39 号	令和3年度一般会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 40 号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 41 号	監査委員の選任につき同意を求める〔滝澤 英明 氏〕 (付託省略)	同意	○	○	○	○	○
議案第 42 号	令和3年度一般会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○

諮問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮問名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める〔藤田 幸子 氏〕 (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○

請願

(○:賛成 ×:反対 - :退席)

請願番号	請願名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
請願第 1 号	春日部市議会議員定数削減を求める請願 (議会改革検討特別)	不採択	×	○	×	×	○ ² × ¹

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議第 3 号議案	議会会議規則の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 4 号議案	早期に「少人数学級」の実施を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	×	○	○	○ ² × ²
議第 5 号議案	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	○ ³ × ¹
議第 6 号議案	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○
議第 7 号議案	LGBT(性的少数者)に関する差別解消を目的とした法整備を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○ ³ × ¹
議第 8 号議案	「東京五輪」開催の中止を求める意見書 (付託省略)	否決	×	×	×	○	○ ² × ²
議第 9 号議案	建設アスベスト被害者の早期救済を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○ ³ × ¹
議第 10 号議案	教員免許更新制の廃止を求める意見書 (付託省略)	否決	×	○	×	○	○ ¹ × ³

新たな正・副議長決まる

6月定例会において、議長、副議長が辞職したことに伴い、選挙の結果、議長に栗原議員、副議長に水沼議員が選出されました。また、委員会委員等においても一部変更がありました。



市議会議長
栗原信司

このたび、議員各位のご推挙を賜り、議長に就任させていただきますました。身に余る光栄であり、その重責に改めて身の引き締まる思いであります。

現在、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスにより、多くの市民が苦しんでいます。市民の負託をいただいた私ども市議会としましては、皆さまと心を一つにコロナ禍を乗り切り、一刻も早く安心安全な春日部市を構築するため、一丸となって取り組んでいきますので、ご指導を賜りますようお願いいたします。就任のあいさつとさせていただきます。

就任のあいさつ



市議会副議長
水沼日出夫

このたび、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。今後は議長を補佐し、春日部市政の促進と公平かつ円滑な議会運営に向け、鋭意、力を尽くし、春日部市のさらなる発展のために努力してまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策においても、引き続き、感染拡大防止にご協力くださいますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

議 会 人 事

今定例会において、議会人事の一部が次のとおり、変更になりました。

総務委員会

(新)金子 進
(旧)滝澤 英 明

教育環境委員会

(新)滝澤 英 明
(旧)金子 進

議会運営委員会

(新)金子 進
(新)鬼丸 裕 史
(旧)水沼 日出夫
(旧)滝澤 英 明
(旧)栗原 信 司

議会改革検討特別委員会

(新)荒木 洋 美
(旧)栗原 信 司

広報広聴委員会

(新)金子 進
(新)鈴木 一 利
(旧)水沼 日出夫
(旧)荒木 洋 美

図書室運営委員会

(新)金子 進
(新)鈴木 一 利
(旧)水沼 日出夫
(旧)荒木 洋 美

埼玉畜産組合協議会議員

(新)鈴木 一 利
(旧)荒木 洋 美

埼玉県都市競艇組合協議会議員

(新)栗原 信 司
(旧)佐藤 一

利根川栗橋流域水防事務組合協議会議員

(新)佐藤 一
(旧)水沼 日出夫

監 査 委 員

(新)滝澤 英 明
(旧)金子 進

市立医療センター運営委員会委員

(新)佐藤 一
(旧)滝澤 英 明

都市計画審議会委員

(新)鈴木 一 利
(旧)荒木 洋 美



委員会の構成

名 称		氏 名 (◎は委員長、○は副委員長)			
常 任 委 員 会	総務委員	◎金子 進 卯月 武彦	○吉田 稔 水沼日出夫	古沢 耕作 山崎 進	坂巻 勝則 栗原 信司
	厚生福祉委員	◎石川 友和 並木 敏恵	○永田 飛鳳 鬼丸 裕史	岩谷 一弘 荒木 洋美	大野とし子
	建設委員	◎海老原光男 酒谷 和秀	○榛野 博 鈴木 一利	今尾 安德 栄 寛美	佐藤 一 武 幹也
	教育環境委員	◎木村 圭一 滝澤 英明	○松本 浩一 河井 美久	井上 英治 小久保博史	山口 剛一 中川 朗
議会運営委員会委員		◎鬼丸 裕史 松本 浩一	○荒木 洋美 金子 進	卯月 武彦 栄 寛美	石川 友和 小久保博史
議会改革検討 特別委員会委員		◎山崎 進 榛野 博 武 幹也	○栄 寛美 鬼丸 裕史	坂巻 勝則 吉田 稔	卯月 武彦 荒木 洋美
広報広聴委員会委員		◎永田 飛鳳 金子 進	○坂巻 勝則 山口 剛一	榛野 博 木村 圭一	今尾 安德 鈴木 一利
図書室運営委員会委員		◎永田 飛鳳 金子 進	○坂巻 勝則 山口 剛一	榛野 博 木村 圭一	今尾 安德 鈴木 一利

議会選出各種議会議員・委員会等委員

名 称	氏 名			
埼玉葛斎場組合議会議員	榛野 博 河井 美久	今尾 安德 海老原光男	山口 剛一	鈴木 一利
埼玉県都市競艇 組合議会議員	栗原 信司			
利根川栗橋流域水防 事務組合議会議員	坂巻 勝則	佐藤 一		
江戸川水防事務 組合議会議員	大野とし子	鬼丸 裕史	吉田 稔	(藤枝 哲也)※
監 査 委 員	滝澤 英明			
市立医療センター 運営委員会委員	石川 友和 山口 剛一	松本 浩一 河井 美久	並木 敏恵 栄 寛美	佐藤 一 武 幹也
国民健康保険 運営協議会委員	大野とし子 中川 朗	石川 友和	山崎 進	海老原光男
民生委員推薦会委員	永田 飛鳳	河井 美久		
都市計画審議会委員	今尾 安德	鬼丸 裕史	鈴木 一利	小久保博史
空家等対策協議会委員	山崎 進			

※ 議員以外から選出

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧いただくことができます。

※ 栗原信司議長は職責上（議事整理権）、監査委員の滝澤英明議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

今定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症対応のため、持ち時間を議員1人当たり30分に短縮して行われました。

一般質問に27人が登壇

石川市長の今後の市政運営について



山崎 進
議員

春日部市は、現在の最重要事項でもある、新型コロナウイルスへの対応を、継続してしっかりと取り組んでいく必要があります。また、本市のさらなる発展のためには、市長の手腕により、同時並行で動いている、未来に向けた大きな事業を、今後も着実に推進していく必要があります。この春日部市の未来がかかった事業をしっかりと着実に推進するためには、これまでの苦労を知り、関係機関との厚い信頼関係のある石川市長でなければ難しいと思います。そこで、石川市長は、10月24日に投票が決定した、市長選挙に、出馬する意思をお持ちかどうか伺います。

責任において、しっかりと取り組むことが、使命だと思っています。また、鉄道高架事業等、本市のさらなる飛躍のために欠かせない、未来に向けたまちづくり事業も大きく動き出しており、これらを着実に推進していくことが、春日部市の輝かしい未来のためには大変重要だと考えています。決して立ち止まることが許されない状況の中、さまざまな課題に立ち向かい、不退転の決意を持って再度市政運営を担うべく、10月の市長選に立候補したいと考えています。

新型コロナウイルスワクチン接種について



海老原光男
議員

当市では、令和3年3月15日から市立医療センターの医療従事者の方々にワクチン接種が始まり、5月3日から90歳以上の高齢者接種が5歳刻みで始まりました。現在、公表されている高齢者接種については、最後の65歳以上69歳未満の方への接種券の発送は

6月下旬、接種時期は7月上旬予定ですが、64歳以下の方は未定となっています。そこで、64歳以下の方への接種予定についての考えを伺います。また、接種の優先順位として高齢者の次は基礎疾患を有する方とあります。当市の予約方法では一般の方と同じタイミングで予約後、予診票で確認する方法しかないと思いますが、市の考えを伺います。

○健康保険部長
現在65歳以上の高齢者に対し、7月末までに接種を終えられるよう全力で取り組んでいるところであり、64歳以下の方への接種は、高齢者の接種の終了が見込まれ次第開始し、国の想定する来年2月末までに希望する全ての方々が接種を終えられるよう取り組んでいきたいと考えています。

また、基礎疾患のある方については、現在、国からも明確な方策が示されておらず、64歳以下の方と並行して進めるようにとされているのみですので、現時点では具体的な方法を示すことはできませんが、今後の国や県からの情報に十分に留意し、市医師会とも協議をし、適切に取り組んでいきたいと考えています。

子育て世代に 選ばれるまちに



松本 浩一
議員

子育て世代に選ばれるには、子育て世代への経済的な支援の強化と子育て環境の整備が必要です。

そこで、以下の提案の実現について伺います。

- ① 学校給食費の2子目以降の無償化
 - ② 就学援助を生活保護基準の1・3倍から1・5倍へ引き上げ
 - ③ 0～2歳児の保育料と3歳児以上の給食費無償化
 - ④ こども医療費の18歳までの通院費無料化
 - ⑤ 国保税の子どもの均等割免除
 - ⑥ 温水市民プール建設
 - ⑦ 公民館使用料の無料化
 - ⑧ 図書館を直営に
- 学務指導担当部長
- ① 4月から第3子以降の補助を開始したところで、第2子の無償化は考えていません
 - ② 現状の認定基準を維持し、安定的に実施していきます。
- こども未来部長
- ③ 国の動向を注視していきま
 - ④ 取り組みの効果を検証しながら検討を進めます。



子育て世代に選ばれるまちに (イメージ)

○健康保険部長

⑤ 国において、未就学児を対象に均等割の5割を公費により軽減する法案を国会に提出しており、今後の動向を注視していきます。

○社会教育部長

⑥ 民間プール利用補助や学校プール開放を行っています

⑦ 負担の公平性から必要最小限の負担をお願いしています

⑧ 指定管理者と十分協議を重ね、市民サービス向上に努めます。

○市長

今後も子育て世代に選ばれるまちに向けて全力で取り組んでいきます。

コロナ禍の今こそ市内経済 活性化に住宅リフォーム 助成制度の創設を



今尾 安徳
議員

昨年からの新型コロナウイルスの猛威に本市も大きな影響を受けています。

緊急事態宣言やまん延防止措置などの自粛要請で、春日部市内の事業者にも大きな影響が出ているものと思います。

市はこの間、空き家リノベーション助成制度が住宅リフォーム助成制度の請願趣旨を包含するもの、として実施していません。

空き家リノベーション助成制度は、空き家対策として取り組まれており、令和元年度からの利用状況は市内事業者の活用も4割以下です。

一方、昨年から取り組まれている市内プレミアム付商品券では、6月2日時点で、換金額の5・7%、約5千万円分が、リフォームなどの設備関連の事業者で使われています。

コロナ禍で市内経済が停滞せざるを得ない今だからこそ、

この間、請願2回、決議が1回採択されている経済対策としての住宅リフォーム助成制度を今こそ取り組むべきときではないかと思えます。市長の考えを伺います。

○市長

議会の議決や採択された請願については、議会の意思として、その内容を真摯に受け止め、検討してきました。

ご指摘の住宅リフォーム助成制度については、決議および請願の趣旨を包含した、より充実した施策として春日部市空き家リノベーションまちづくり事業を推進しています。

市長の危機意識を問う。 ワクチン接種事業について



古沢 耕作
議員

新型コロナウイルススワクチン接種事業に関し、市民の皆さまからは、予約の電話が通じない、ようやくつながっても枠が埋まってしまい待たされる、などの多くの不安や批判の声が寄せられています。

その中で市長は「接種は順調に進んでいます」と何度も

SNSで発信しています。私は市長が市民の皆さま、また市職員と同じ危機感を共有しているのだろうかという疑問を強く抱いています。そのことを踏まえ、以下伺います。

① ワクチン接種予約体制の現状と課題について

② 予約を取るために本当に多くの方々が苦勞され、毎日のように、市民の皆さまから苦情を頂いているのが現状です。市長はそのことを把握されていますか。その上で、今でも本市のワクチン接種事業は順調、との認識ですか。

○健康保険部長

① 予約はコールセンター、LINEアプリ、インターネットで行いますが、当初コールセンターがつかない状況が続きました。また、予約情報が不足とのご指摘もありました。

○市長

② 本市の5月末現在の接種済み件数は、県内でもさいたま市に次ぎ2番目の早さです。予約も回線数を倍にし、会場で2回目の予約をサポートするなど柔軟に対応しています。

このほか

○東京五輪・聖火リレーの実施に関して

ワクチン接種について



井上 英治
議員



現在の市民の最大関心事のワクチン接種への市の対応を以下伺います。

①春日部市の高齢者ワクチン接種は遅いとの声が多いが他市比較ではどうなのか②タクシー代の2千円商品券先行発送の是非について③余剰ワクチンの対応について。鍼灸院、接骨院従事者は対象になるか④接種予約でネット操作代行を公民館等でできないか⑤駅東口地域には大型駐車場のある文化会館、粕壁小学校、春日部中学校、春日部女子高があるのに接種会場を設けなかった理由は

○健康保険部長

①医師会からの情報では、県内自治体の5月末までの65歳以上の接種済み数は、本市はさいたま市に次いで2番目に多い数となっています②接種券の送付時期が同一ではないことや、商品券は金券のため特定記録郵便として準備の時

間を要するので、接種券発送時期に影響を及ぼさないよう別々に送付しました③現状では優先接種者としての医療従事者に接種を行い、無駄にしないよう努めています。接骨院と鍼灸院の従事者は、国が対象としていません④担当課

においての電話や窓口相談のほか、各公民館等の窓口での職員による予約の支援を行っています⑤施設の状態や地域バランス等を総合的に勘案し、選定したものです。

このほか
○マイナンバーカード普及について

ヤングケアラーの実態を調査し、総合的に支援する体制整備を



卯月 武彦
議員



ヤングケアラーとは、大人がやるべき介護や家事を行っている18歳未満の子どものことですが、①昨年、県が高校2年生を、国も高校2年生と中学2年生を対象に調査を行い、結果を報告しています。市としても調査すべきと思うが、市の考えは②子どもと一

春日部市「新」災害ハザードマップについて



鬼丸 裕史
議員



ハザードマップが新たに改定されました。地震や洪水といった災害から自分の身を守るためには、備えを確認することが重要です。ただ、実際には何をどう備えればよいのかといったことも聞かれます。そこで、以下伺います。

①新災害ハザードマップ作成の経緯について②改定内容について③マイ・タイムラインの普及啓発について④今後の災害への備えについて

○市長公室長

①平成23年の東日本大震災や平成27年の関東・東北豪雨など、想定を超える大規模な災害の発生により水防法が改正されたことを受け、国と県で最新の浸水情報が公表されたことから、内容を一新して作成したものです②200年に1度起り得るものから、1000年に1度起り得る最大規模の降雨量を基に浸水想定区域を変更しました。また、



今回改定された春日部市災害ハザードマップ

縮尺を変更して地図面を大きくし、新たにマイ・タイムライン作成ページを設けました③広報6月号に特集記事を掲載したほか、学校の要請を受けて授業を実施しています。また、市内大型商業施設でPRイベントを実施し、啓発を行う予定です④災害時の被害を最小限にとどめるためには、基本は自助、共助を一人一人に心掛けていただくことが大切ですので、日頃から災害に備えていただけるよう、さまざまな最新情報を周知しながら、市全体としての防災力向上を図っていきます。

コロナ禍における 投票率の向上について



永田 飛鳳
議員

3月8日の読売新聞に自宅やホテル療養中の有権者の選挙権確保が自治体の頭を悩ませていた、と記事があります。コロナ陽性者に対しては、外出できない中でどのような投票をするか、というのは公職選挙法でも明確な記載がありません。本市は郵便で投票が行える不在者投票があります。利用には「重度の障害があり投票に行けない人」と条件が限られており、コロナ陽性者は、現状利用できません。郵便の不在者投票の枠を広げたり、移動式期日前投票所を取り入れれば可能だと考えますが、本市としてコロナ療養者が投票する方法は、どのように考えているでしょうか。

○選挙管理委員会事務局長

現在、国において、新型コロナウイルスに感染した自宅療養者が選挙で郵便投票を利用できるように6月中旬に特例法を制定する方向で進められ

この特例法の骨子案では、投票用紙を選挙管理委員会に郵送で請求する際、保健所等が発行する自宅療養協力依頼書等の書類の写しを同封し、療養者であることの承認を受けるものとなっています。

投票用紙が自宅に郵送され

たら、候補者名等を記載し、返信用封筒で郵送することで、投票所に足を運ぶことなく投票ができる方法となります。特例法が成立し、制度の利用が開始される際には、本市においても選挙の執行に合わせた投票用紙の請求方法など具体的な内容を周知していきます。



コロナ以前の期日前投票所の様子

指定管理者制度が及ぼす 市内経済への影響について



坂巻 勝則
議員

従来、地方自治体が設置した公の施設の管理運営を行っていたのは、設置した自治体の業務でした。公の施設とは、住民の福祉を増進する目的で利用する施設です。しかし、2003年に経済界からの強い要求で地方自治法が改正され、公の施設の管理を一般企業や民間事業者などに任せることが可能となりました。これが指定管理者制度です。全国で株式会社による指定管理者が増えていきます。利益を追求することが目的の株式会社や公の施設で利益を得ようとすれば、人件費の削減に直結します。その結果、賃金引き下げや、職員を非正規に置き換えるなど、官製ワーキングプアが増えるという構図が多く見られます。特に保育・福祉・教育など、利益を生むことが目的ではない施設では、この制度はなじみません。本市でも保育・福祉・教育

を含む62施設で導入され、うち87%に当たる54施設の管理が市外事業者です。事業者別では、全13者のうち77%に当たる10者が市外事業者で、指定管理料19億8750万円のうち93%の18億5410万円が市外へ流出しています。市内経済活性化のためにも指定管理者制度はやめて、市の直営に戻すべきと思いますが、市長の考えを伺います。

○市長

多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、引き続き指定管理者制度を適切に活用していきます。

(仮) こども基本 条例について



武 幹也
議員

初めに「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」に基づく、これまでの市の取り組みを伺います。併せて、条約の大きな柱である「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」につながる条例は本市にあるか伺います。本市においても

(仮) 子ども基本条例を制定すべきと考えるが市の考えは、また、「子どもは社会の一員でもあり、あらゆる場面において権利の主体として尊重される必要がある」と思いますが、市長の考えを伺います。

○こども未来部長

本市では、春日部市次世代育成支援行動計画から子どもの権利条約を反映しており、現在の第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画においても踏襲し、継続して様々な事業に取り組んでいます。

子どもの権利につながる条例は、春日部市青少年健全育成基本条例があります。

本市では、春日部市青少年健全育成基本条例及び春日部市自治基本条例の規定において、子どもの権利条約に基づき4点の子どもの権利は全て保障されており、今後もこれらを適正に運用していきます。

○市長

子どもは、大いなる可能性を秘めた、かけがえのない存在です。全ての子どもが誰一人取り残されることなく、将来への希望を持って、伸び伸びと健やかに社会の一員として主体的に成長できる環境づくりを進めていきます。

春日部市の財政と公共施設 マネジメントについて



栄 寛美
議員

財務省関東財務局による市の財務状況把握ヒアリングにおいて、資金繰り状況が「留意すべき状況にある」とあり、また、令和4年度には債務が増加し、経常収支は悪化する予測がされているが、詳しく説明していただきたい。

また、新型コロナウイルス感染症に関連した経済状況の悪化に伴う税収減の影響が加味されると、さらに状況は変化するのが伺えます。

○財務部長

資金繰りの余力の水準を示す指標である積立金等月収倍率については、財務省基準である3・0カ月を0・2カ月下回ったため、やや留意と評価されたところです。主要要因としては、待機児童解消に向けて民間保育所等の運営委託料、給付事業費が増加したことなどにより経常収支比率が増加したことや、基金の取り崩しを行ったためと考

います。債務増加、経常収支予測については、大規模事業が進められていることや、普通交付税における合併算定替の縮減期間が終了することなどに基づく予測と考えますが、財務省や総務省の指標も踏まえ、健全な財政運営に努めていきたいと考えています。

また、新型コロナウイルス感染症による税収減の影響については、当初予算では市税全体で3・9%の減と見込んでいますが、今後も国や県の動向、経済状況等を注視しつつ、持続可能な財政運営に努めていきたいと考えています。

オンライン授業の体制を整備し、どの子にも学力の保障を



大野とし子
議員

今年度より子どもたち1人1台の端末でICTを活用した教育が始まりました。この教育が教育活動の主流になることは賛成できませんが、どの子もパソコンが使えるようになることや、緊急時にどの家庭でもオンライン授業ができることは今後求められます。

そこで、オンライン授業に向けた体制整備について、教員の負担軽減のために支援員はどう配置していくのか、WiFi環境のない全世帯にモバイルWiFiルーターを貸し出すのか、通信費を就学援助費に入れていく自治体もあるが本市はどうか伺います。

また、事情があつて登校できないお子さんの保護者の方から、個別のオンライン授業を望む声が届きました。学校と家庭をつなぐツールとして取り組んでほしいと考えますが、市の認識を伺います。

○学務指導担当部長

現在9名が34校を担当し、ICTに関する知識・技能を持った方、学校教育に理解のある方に支援をお願いしています。通信費補助については研究していきます。さまざまな理由で登校できない子どもたちにオンラインによる学習を提供することは学習保障のための選択肢の一つであると考えていますが、課題もあると認識しています。

○学校教育部長

ルーターは国からの補助金を活用し、要保護及び準要保護世帯を対象として貸し出せるよう整備しました。

農業の状況について



金子 進
議員

農産物の価格の低下および農業の担い手不足による遊休農地あるいは耕作放棄地の面積の状況について伺います。

次に、農業経営および農地利用状況に関する調査結果で、今後の就農意向の割合についてと、農地を貸したい、あるいは農地を売りたいという意向の件数および面積の状況について伺います。

さらに、新しくできた農地リース制度の春日部市内の状況についても伺います。

○農業委員会事務局長

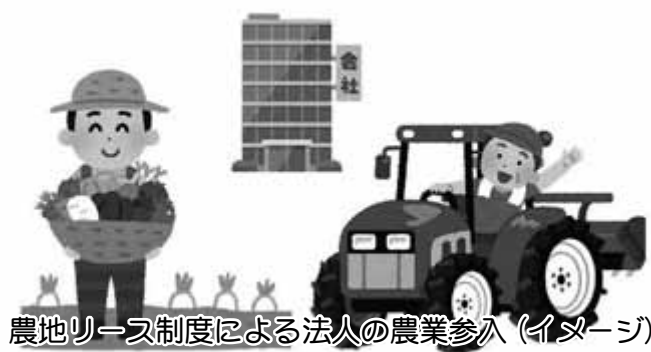
耕作放棄地の最新の数値が公表されていないため、直近の遊休農地の面積となりますが、令和2年度は、約21ヘクタールで、5年前の平成28年度は、約17ヘクタールです。

就農意向の割合は、

184人から回答があり、農業を専業にしたいが98人、5・3%、農業を主にしたいが207人、11・2%、兼業を主

にしたいが807人、43・8%、農業をやめたいが732人、39・7%という結果となっております。

農地で売りたい意向の件数は964筆、面積は約67・7ヘクタールで、貸したい意向の件数は1090筆、面積は約105・8ヘクタールです。本市の農地リース制度の状況ですが、6つの法人が許可を受けており、6月1日現在で約9・8ヘクタールの農地を利用しています。なお、そのうち3つの法人が米の栽培残りは果樹、野菜を栽培しています。



農地リース制度による法人の農業参入(イメージ)

GIGAスクールについて



石川 友和
議員

徐々にはありますが、今年度から本格的に各学校で運用されているかと思う、このGIGAスクールですが、現状はどのような形で運用されているのか。また、端末の持ち帰りについて、休校時には持ち帰れますが、平時においてはどのように考えているのか伺います。

併せて、GIGAスクール元年である今年度から本格的に運用が始まりましたが、春日部市は今後どのような展開を考えているのか伺います。

○学務指導担当部長
運用について、例を挙げますと、自分の好きな場所の写真を撮り、絵の構図を決める。自分の写真を撮り、文字を加えて自己紹介の掲示物などを作成する。ビデオ会議ソフトを使って校長の講話を自分の端末で視聴するといった活動を行った学校があります。各学校では、さまざまな工夫を



学習用端末のイメージ

凝らして端末の活用をスタートさせたところ。試行的な取り組みから成果と課題を整理し、全ての学校で子どもたちが端末を持ち帰ることができるよう準備を進めていきたいと考えています。

今後は、教育委員会としても、市内の各学校、他の自治体の活用事例等の情報収集と情報提供に努め、ICTを活用した教育の充実と学びの基礎・基本の定着を図り、未来に生きる子どもたちの確かな学力の育成に取り組んでいきます。

生理用品の無償配布と公共施設トイレへの設置



並木 敏恵
議員

生理の貧困についての問題意識が広がり、自治体による生理用品の無償配布も行われています。本市においても早急に取り組むべきですが、実施の考えを伺います。また、一時的な取り組みでなく、継続した事業として定着させてほしいが、いかがでしょうか。

生理は母体を準備する営みであり、社会的に保護されてこそ女性が生き生きと活躍できます。そこで、公共施設のトイレにトイレットペーパーと同様に生理用品を当たり前に設置することを求めますが、市の考えを伺います。

○福祉部長
生理用品の無償配布は、前向きに検討すべき事案と考えています。実施に当たっては、十分な周知の下、試行的に配布を行いながら状況を見極め、今後の事業展開を検討していくことが重要と考えています。

公の場であり語られることのなかった女性の生理ですが、実は多くの女性が心身の不調や不自由さを感じており、この困難な状況を男性も含め、考えるきっかけになったことの意味は大きいと考えます。

女性が生理用品を入手しやすくする支援は必要であると考えますが、全ての公共施設の女子トイレに配置することに関しては、衛生面で不安を感じる方もおり、また、配置する生理用品の種類や管理面でも課題があることから、全ての女子トイレに配置することは難しいと考えています。

これからの中央図書館の在り方について



河井 美久
議員

そこで、建設されてから38年を経過しているため、建物の老朽化は避けられないと思えますが、建物全体に関わるような改修の予定はあるか伺います。また、新たなサービスの状況について伺います。

○社会教育部長
中央図書館については、「春日部市公共施設マネジメント基本計画」の中で、大規模改修を検討すべき時期に該当しています。建物全体に関わる改修には、多額の費用が見込まれるため、市全体の既存施設の在り方の中で検討し、同じ敷地内にある市民文化会館とともに、長寿命化や複合化なども視野に入れて検討を進めていきます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、不要不急の外出を避ける日々が続いています。読書は家にいるから心豊かに過ごすことができ、本を通して家族との対話も生まれるなど、改めて読書の重要性と図書館の役割を認識したところです。

新たなサービスとして、平成29年度から電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」を導入し、時間や場所を選ばず読書を楽しむことができ、多くの方に利用されています。今後も、デジタル技術の進展などにより、斬新で画期的なサービスが出てくることも予想されるため、指定管理者と十分協議しながら、さまざまな取り組みを進め、市民サービスの向上と魅力的な図書館づくりに努めていきます。

生理の貧困について



荒木 洋美
議員

生理の貧困とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にある事を指し、任意団体の「#みんなの生理」が行ったオンライン調査によると、5人に1人の若者が金銭的理由で生理用品を買うのに苦労した、ほかの物で代用している等との結果が出ています。また、貧困だけでなく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとのこと。私たち公明党市議団も3月17日コロナ禍における女性の負担軽減の緊急要望を市長に提出し、執行部にも無償配布の取り組みを早急に実践していきたいとの答弁を頂きましたが、その内容について伺います。

○市民生活部長

市内の女性を中心とした職員有志や、女性が多く活躍されている福祉団体等の有志の皆さまからの寄付を活用する

ことで、速やかな実施が可能と考えます。配布方法は中身が見えない袋に入れたものを手渡しし、相手の心情に配慮して生理用品が必要であることを声に出さなくても受け取る方法を考えています。さらに配布に当たっては、人目につかず、女性が立ち寄りやすい場所を検討し、単に配布するだけでなく、悩み事を安心して相談できる場があることを広く周知していきます。

このほか

- 社会的孤立防止対策
- プレコンセプションケアの推進

自殺予防に対する人材育成について



中川 朗
議員

日本の自殺者数は9年連続減少していますが、依然として毎年2万人を超える方が自ら命を絶っています。さまざまな悩みや生活上の困難を抱える方に寄り添い、関わりを通して孤立・孤独を防ぎ、支援するゲートキーパーの養成は非常に重要な取り組みです。

そこで以下伺います。

- ①自殺を防ぐために有効な存在となるゲートキーパーの役割
- ②ゲートキーパー育成に当たり、市が行ってきた取り組み
- ③本市の人口10万人当たりの自殺者数は国、県よりも高いが、ゲートキーパー育成のさらなる推進を図るための今後の事業展開についての考え

○健康保険部長

- ①家族や仲間の変化に気づいて声をかける「気づき」と「声かけ」、本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける「傾聴」、早めに専門家に相談するように促す「つなぎ」、温かく寄り添いながらじっくりと見守る「見守り」の5つがあります。
 - ②平成30年度からは具体的な手法を学ぶゲートキーパー養成プログラムとしてメンタルヘルス・ファーストエイド(MHFA)の手法を取り入れた研修を行っています。
 - ③今後も継続的にMHFAの手法を取り入れたゲートキーパー養成講習を実施し、令和4年度からは一般市民を対象に広げ、事業を展開できるように体制を整えていきます。
- このほか
- シテイセールの推進について

新本庁舎建設後の教育センターの活用方針について



山口 剛一
議員

本年3月に旧春日部市商工振興センター跡地活用施設整備基本構想・計画と、春日部市中心市街地まちづくり計画が策定されました。春日部の中心市街地に関わる重要な計画が決定されたわけです。また、本年は新本庁舎の建設が始まる予定です。新本庁舎建設完了後には、教育関係部署が教育センターから新本庁舎へ移転することが決まっています。教育センターの空きスペースの有効活用は、まちづくりの観点からも重要な検討事項だと思えますが、検討の状況、検討する際に考慮すべきほかの計画、検討の進め方について伺います。

○学校教育部長

現在も検討を行っています。教育相談センターの相談件数の増加などにより、スペースを拡充する検討のほか、郷土資料館も、市の歴史文化資源が増加していることなど

から、拡充を検討しています。

○総合政策部長

活用の検討時に関わる市の計画は、春日部市総合振興計画、公共施設マネジメント基本計画、都市計画マスタープラン、中心市街地まちづくり計画、立地適正化計画などが考えられます。検討の進め方は、教育センターに限らず、各公共施設に係る方向性については、施設所管部署を主体とし、公共施設事業調整課が協力しながら検討しており、関連する各種計画との整合など、部局を超えて全庁的に調整を図りながら進めています。



春日部市教育センター

財政の一助になるかもしれない
LED照明について



吉田 穂
議員



「市民生活」「春日部市」
「コロナ禍で厳しい経営状況にある市内中小企業・個人事業主」それぞれへの好影響が期待でき、年間約1400万円の予算圧縮につながる可能性がある、市内小中学校のLED照明化に対する取り組みについて、改めて伺います。

○学校教育部長

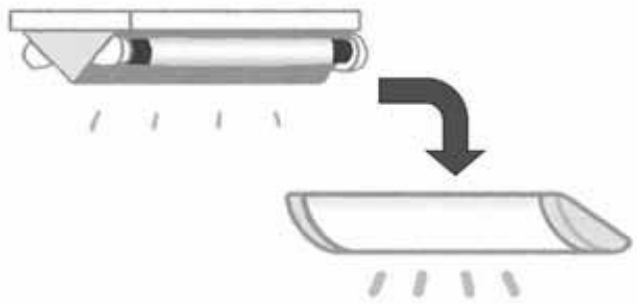
初めに、これまでの取り組み状況ですが、学校再編に伴う教室改修工事、校舎の増築工事、トイレ改修工事や修繕等の機会を捉え、照明設備をLED照明へ交換を進めてきました。また、体育館においても、耐震補強や耐震対策工事などの大規模な工事に併せて、LED照明などへ交換をしており、さまざまな機会を捉え、照明設備をLED照明に順次更新している状況です。次に、今後の取り組みですが、まずは学校施設にある照明設備を把握する必要がある

ことから、今年度、市内業者により学校施設にある全ての照明設備の調査に着手したところですが、調査の内容ですが、市内小・中・義務教育学校34校の建築物や工作物並びに屋外の既存照明設備の位置や種類を調査するものです。

今後は、この調査結果を基に、効果的な維持管理や、改修計画を進めていく上で、LED化によるコスト削減や費用対効果も含めた照明設備の在り方を検討していきます。

このほか

○コロナ禍における式典の在り方について



市内小中学校の照明をLEDに (イメージ)

市職員の市民対応について



小久保博史
議員



先日、市内のある団体の代表者の方から、次のような話を伺いました。それは、「市の職員が、私の事業所に訪問された際、その職員からどう喝とも取れる看過できない横柄な言動があった。その発言の後、体調を崩し、生まれて初めて不整脈が出て、血圧の降圧剤が一つ増えた。」というものでした。現在も不整脈の関係で通院中だそうです。この方は、熱心に市政発展のためにご尽力をいただいている方であります。

確認の意味で伺いますが、そもそも市では、職員が市民の皆さまや関係団体の方などと接する上で、どのような事を心掛けて接するべきと考えているのか伺います。

○総務部長

市の職員は、市民全体の奉仕者として公共の利益のために職務に当たり、常に市民の目線に立った誠意ある対応が

求められています。市民の皆さまや関係団体の方などと接する際は、相手の方の立場や状況を考えた臨機応変な対応や、相手の方に寄り添った丁寧な対応が必要と考えています。また、市民、関係団体などの皆さまは、市政発展のために行政とともに歩んでいく重要なパートナーであると考えており、これまでも職員の接遇力向上に対する取り組みを行っています。しかし今回、関係団体の方に対して職員の不適切な対応があったということについては、誠に申し訳なく思っているところです。

市内の公園について



榛野 博
議員



市民の健康増進やくつろぎの空間として、公園は非常に重要な役割を果たしています。市の公園は、面積の大きさにより4つに区分され、市や指定管理者が、市民が快適利用できるように整備を行っています。これらの公園の一部は、公共施設予約システムを用い

て利用申し込みの手続きを行うが、初期登録を行うために、なぜ、一度出向いて手続きを行わなければならないのか伺います。また、現在のネット社会では、全ての手続きがネットで完了することが望ましいと考えるが、さらなる利便性の向上に向けたシステムの更新はあるのか伺います。

○総合政策部長

公共施設予約システムの利用者登録を対面で行う理由は、利用施設により登録要件が異なるため、本人確認と併せて登録要件や留意事項、登録後の予約方法などを説明していることから、対面にて手続きを行っているものです。

システムの変更については、現時点では予定していません。現在、対面にて手続きを行っているのは、本人確認や留意事項の説明など利用者登録カードの交付、いわゆる番号付与までとなっています。従って、ここまでの手続きを工夫すれば、非対面での施設予約が可能となることから、手続きを早急に見直し、施設利用者の利便性の向上を図っていきます。

このほか

○観光政策について

会之堀川流域の 浸水被害軽減対策について



水沼日出夫
議員



会之堀川流域の改修工事では、都市型水害対策上の工法や施策等が、随所で展開されてきましたが、どのような改修が行われてきたのかを、その狙いなども含めた具体例で伺います。

○建設部長

流域において近年実施してきた主な水害軽減対策は、大きく3つに分けられます。

1点目は河道の改修です。会之堀川第一幹線は、平成27年度までに立沼橋から立沼町会集会所付近までを整備しました。この区間は、暗渠部分の上部を歩道および自転車道として有効活用しています。平成30年度からは、さらに上流部分に着手し、続く今年度も2連のボックスカルバートによる整備を予定しています。河道の改修により、流下能力を向上させることで、浸水被害の軽減を図っています。

2点目は雨水貯留施設の設

置です。ララガーデン協の公園の地下や、市立医療センターに隣接する歩道の下に貯留施設を整備しました。雨水貯留施設により、一時的に雨水を貯留し、大雨のピーク時における河川の水位上昇を抑え、市役所通り周辺の浸水被害軽減に効果を発揮します。

3点目はポンプの整備です。平成29年度までに、備後西ポンプ場から、会之堀川への排水を約4倍に増強し、周辺の浸水被害軽減を図っています。

このほか

○春日部駅周辺におけるホテルチェーンの進出について

市民の命を守れ 早期ワクチン接種を！



岩谷 一弘
議員



早期のワクチン接種には市長のリーダーシップが欠かせないと考えます。しかし、かなり担当部署に任せてしまっているという感が否めません。もっと市長のリーダーシップを発揮していただきたい。春日部市医師会との連携の下に行っていると思いますが、

医師会はウイング・ハットなど大会場での集団接種を希望したと伺っています。いくら予約が入っているからとはいえ、国民的危機のときに市長がリーダーシップを発揮して会場を設置できなかったのでしょうか。また、市と医師会の協議に市長や特別職が出席することがあるのでしょうか。日時指定制なら、電話がつかないなど予約の混乱を避けられたのではないですか。

○健康保険部長

接種はあくまで本人の希望によるものとなっております。日時指定した場合、本人の都合が合わず、多数のキャンセルも懸念され、ワクチンの安定供給が十分に見込まれていない中、指定日時の順序付けも、市民の皆さまの公平感を得ることは難しいと考えました。

○市長

ワクチン接種会場の選定については、交通便利性などの観点も含め、総合的に判断したものです。また、医師会との協議については、担当の部長以下関係職員が出席しており、病院事業管理者も加わっています。協議内容については部長より毎日報告を受けており、対応を指示しています。

春日部市で管理する トイレ対策について



木村 圭一
議員



公民館や体育施設を利用される特に足腰の弱い方々から和式トイレの利用はかなり困難なので洋式化してほしいとの要望を頂くことがあることから、本市でも洋式化のさらなる推進と、温水洗浄便座の導入を進めるべきと考えますが、市の見解を伺います。

次に、災害時でも衛生的に利用できるトイレとして、トイレトレーラーを他市で導入した先進事例が各新聞記事に掲載されていました。電気が止まり、暗くて清潔とは思えないトイレに行くことを控え、健康被害などの二次災害を起こさないためにも必要なトイレ対策と考えますが、本市でも導入できないか伺います。

○社会教育部長

トイレの洋式化への取り組みについては、まずは施設の利用に大きな支障を来す恐れのあるものから最優先に対応し、今後の状況を十分に見極

めた上で必要な対応を図っていきたく考えています。また、温水洗浄便座の整備についても同様に考えています。

○市長公室長

トイレトレーラーについては、災害時でも平常時とほぼ同様な水洗トイレを提供できる利点がありますが、移動の際、けん引免許が必要であり、車体が大きいため、災害時の移送問題や、継続的な維持管理などの課題があります。導入については、他自治体の動向を注視してまいります。

このほか

○ごみ集積所のクラス対策



全国初導入した富士市のトイレトレーラー

今後の新型コロナウイルス
ワクチン接種事業について



鈴木 一利
議員



- 新型コロナウイルススワクチン接種事業につきまして、多くの市民から問い合わせを頂いています。そこで、以下について伺います。
- ①本市における接種体制での個別接種の予約方法を含めた今後について
 - ②64歳以下の接種開始に伴う接種体制の見直しについて
 - ③今後の本市における希望者全員へのワクチン接種についての市長の見解
 - 健康保険部長
 - ①今後は集団接種と並行して、各医療機関による個別接種が本格的に始動してきますので、1日当たりの接種人数が大きく増加するものと考えています。個別接種についても、市の予約システムを用いて予約することになっています。
 - ②日中仕事をされている方や学生の方が多くなるため、平日の集団接種会場を縮小し、土日を拡大していく等の対応

が必要と考えています。また、個別接種が始まったことから、ワクチン休暇を活用した接種の呼び掛けや、接種しやすい時間についての検討をしていきたいと考えています。

○市長

③一日も早く穏やかな生活が送れるよう、医師会や薬剤師会をはじめとする関係者の皆さまと連携しながら、希望する全ての市民の皆さまが接種を早期に終わられるよう全力を挙げて取り組んでいきます。

このほか

○コロナ禍における今年度の学校運営について



ワクチン接種会場の様子 (庄和総合支所)

請願の提出方法について

- 市議会への請願の提出は、次の要領でお願いいたします。
- ①原則として、左記様式により提出してください。(請願書様式は、市議会ホームページからダウンロードできます。)
 - ②請願には、市議会議員1人以上の紹介が必要です。請願書の表紙に、紹介議員の署名または記名押印を受けてください。
 - ③請願者は、署名または記名押印をしてください。
 - ④請願者が複数の場合は、代表者を決めてください。
 - ⑤道路・下水道など、場所に関するものについては、略図を添付してください。
 - ⑥各定例会で審査されるものは、各定例会開会日の5日前に開催される議会運営委員会の前日までに提出されたものになります。

内 容	表 紙
<p>件名</p> <hr/> <p>要旨</p> <hr/> <p>理由</p> <hr/> <p>地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">請願者 住所</p> <p style="text-align: right;">氏名</p> <p style="text-align: right;">春日部市議会議長 あて</p>	<p>請願</p> <p>紹介議員</p> <p style="text-align: right;">印</p>

《用紙はA4 横書き》

※詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会
5月21日
・令和3年6月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会
4月28日
・令和3年請願第1号(継続審査)について
- ・議員定数について
- ・議会基本条例に関するルール集について
- 5月21日
・議員定数について
- 7月2日
・議員定数について
- ・議会基本条例に関するルール集について
- ▽広報広聴委員会
6月25日
・議会だより第64号について
- 7月1日
・議会だより第64号について
- ▽図書室運営委員会
6月25日
・令和3年度購入図書の申し込みについて



議会の傍聴について（お願い）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いしております。

本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でもご覧いただくことができますので、ぜひご利用ください。

議会中継は市議会ホームページからどうぞ



なお、議場で傍聴される場合は、次の点にご協力をお願いいたします。

- ・受付にて体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合は傍聴できません
- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用（傍聴受付に用意しています）
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

今定例会の開催状況

月日	主な日程
5/28	開会、議会人事、議案等の上程・説明
6/1	議案に対する質疑
2	議会改革検討特別委員会
3	総務委員会・建設委員会
4	厚生福祉委員会・教育環境委員会
8	一般質問
10	一般質問
14	一般質問
15	一般質問 追加議案の上程・説明・質疑 委員長報告、議案および請願に対する討論・採決、閉会
17	

全国市議会議長会表彰会

令和3年5月26日に書面開催された全国市議会議長会第97回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状並びに記念品の伝達が行われました。

特別表彰【在職25年】

- 卯月 武彦 議員
- 山崎 進 議員
- 河井 美久 議員

表彰【在職15年】

- 鬼丸 裕史 議員
- 滝澤 英明 議員

編集後記

例年より7日遅い梅雨入りとなりましたが、この議会日より発行の頃には、夏本番を迎えていることと思います。

6月議会も新型コロナウイルスの影響を受ける中、64歳以下の市民のワクチン接種のための補正予算など、重要な審議が行われました。

各議員による市政に対する一般質問もコロナ対策で1人30分となりましたが、27人が登壇し、多くの議員がワクチン接種だけでなく、コロナの影響を含めた市民支援政策などについて取り上げました。

初めての取り組みとなるワクチン接種に関しても、市民の皆さんからの要望を届け、議会中もさまざまな変更・充実が図られました。情報の伝達方法やワクチン接種電話予約のコールセンター増設、2回目の予約に対する職員の支援など、皆さんの声を届け、解決に力を尽くしてきました。議会と自治体も、市民と一丸となって新型コロナウイルス対策に力を合わせます。皆さんの声を最寄りの議員にぜひお寄せください。

広報広聴委員会

委員長 永田 飛鳳
副委員長 坂巻 勝則

委員 榛野 博
委員 今尾 安徳
委員 金子 進
委員 山口 剛一

委員 鈴木 圭一
委員 栗原 信司

オプザーバー
議長 栗原 信司
副議長 水沼日出夫

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会

TEL 048-736-1111（代表）
内線3116

次の定例会は
8月23日（月）
開会予定です

